

(様式第9)

徳大院  
平成22

四国厚生支局長 殿

徳島大学病院長 吉原

徳島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	8.7人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	210人	198人	366.7人	看護補助者	29人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	91人	68人	144.2人	理学療法士	7人	臨床検査技師	48人
薬剤師	40人	0人	40.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	31人	1人	31.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	522人	47人	562.2人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	3人	3人	6.0人	栄養士	0人	その他の技術員	41人
歯科衛生士	7人	6人	11.6人	歯科技工士	6人	事務職員	111人
管理栄養士	10人	1人	10.7人	診療放射線技師	36人	その他の職員	5人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	540.5人	15.3人	555.8人
1日当たり平均外来患者数	1,258.8人	427.6人	1,686.4人
1日当たり平均調剤数	入院 424.1	外来 304.1	剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	2人
顎関節症の補綴学的治療	0人
CTガイド下気管支鏡検査	32人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	1人
膀胱水圧拡張術	4人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	11人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	47人
筋過緊張に対するマッスル・アフアレント・ブロック治療	6人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	54人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	62人	・広範脊柱管狭窄症	13人
・重症筋無力症	70人	・原発性胆汁性肝硬変	49人
・全身性エリテマトーデス	148人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	10人	・特発性大腿骨頭壊死症	2人
・再生不良性貧血	32人	・混合性結合組織病	21人
・サルコイドーシス	71人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	42人	・特発性間質性肺炎	15人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	77人	・網膜色素変性症	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	35人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	10人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	115人	・神経線維腫症	16人
・大動脈炎症候群	23人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	1人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	26人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	89人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	63人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	145人	・球脊髄性筋萎縮症	5人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・後縦靭帯骨化症	100人	・肥大型心筋症	9人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	2人	・ミトコンドリア病	0人
・ウエグナー肉芽腫症	2人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	20人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	29人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	35人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・培養細胞による先天性代謝異常診断	・
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	・
・顔面骨・頭蓋骨の観血的移動術	・
・歯周組織再生誘導法	・
・子宮頸部前癌病変のHPV-DNA診断	・
・膀胱水圧拡張術	・
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	39回
剖検の状況	剖検症例数 28 例 / 剖検率 12.33%

## (様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨格系の制御システムと脂肪・血管制御系との連関およびその異常に基づく病態の解明	松本 俊夫	内分泌・代謝内科	14,950,000	日本学術振興会
骨髄由来fibrocyteの遊走阻害:PDGFの役割と肺線維症治療への展開	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科	4,550,000	日本学術振興会
脂肪肝グラフト部分肝移植における機能不全の解明と結合的治療法の開発	島田 光生	消化器・移植外科	4,160,000	日本学術振興会
延長仮骨の骨癒合促進法の開発	安井 夏生	整形外科	5,330,000	日本学術振興会
ジストニアの分子病態と治療に関する総合的研究	梶 隆兒	神経内科	6,240,000	日本学術振興会
臍帯血細胞移植による未熟肺血管床の発育に関する研究	北川 哲也	心臓血管外科	6,240,000	日本学術振興会
脳動脈瘤増大・破裂における分子機構と薬物制御	永廣 信治	脳神経外科	9,360,000	日本学術振興会
泌尿器癌における癌-間質細胞相互作用-Stromal Therapyをめざして	金山 博臣	泌尿器科	13,130,000	日本学術振興会
金属アレルギーの発症機序の解明と補綴治療学的戦略	市川 哲雄	歯科	9,750,000	日本学術振興会
咀嚼が海馬歯状回へのニッシエに与える影響とそのメカニズムについて	三留 雅人	小児歯科	8,580,000	日本学術振興会
フッ化ジアミンシリケートによる触媒予防と象牙質知覚過敏症治療剤への臨床応用	菅 俊行	歯科	1,170,000	日本学術振興会
総義歯の咬合様式選択のためのガイドラインの構築	永尾 寛	歯科	650,000	日本学術振興会
高溶解性ペクトリン酸カルシウムセメントの創製	河野 文昭	総合歯科診療部	1,170,000	日本学術振興会
リン酸カルシウム置換処理による機能性ペクトルマテリアルの開発	堀内 信也	矯正歯科	780,000	日本学術振興会
細胞接着因子のコーティングによる小口径脱細胞化グラフトの再細胞化に関する研究	神原 保	心臓血管外科	1,430,000	日本学術振興会
気管支喘息の慢性気道炎症の病態解明とその制御	吾妻 雅彦	呼吸器・膠原病内科	1,560,000	日本学術振興会
ジストニアにおける淡蒼球内節機能分画異常の解明	後藤 恵	脳神経外科	1,300,000	日本学術振興会
脂肪ラフト構造標的とした多発性骨髄腫の新規治療法の開発	尾崎 修治	輸血部	1,300,000	日本学術振興会
小児の難病性糸球体腎炎におけるHic-5の役割解明	近藤 秀治	小児科	1,430,000	日本学術振興会
小児の進行性腎疾患における活性酸素種(ROS)の役割解明とその治療応用	香美 祥二	小児科	1,300,000	日本学術振興会
高磁場MRSと多チャンネルNIRSを用いた強迫性障害の薬物応答性予測に関する研究	住谷 さつき	精神科神経科	1,690,000	日本学術振興会
骨髄単核球細胞移植による肺血管新生機序解明に関する研究	吉田 誉	心臓血管外科	1,040,000	日本学術振興会
豚を用いた胎仔肺移植の検討-特に気管支鏡下経気道的投与の可能性を探る-	先山 正二	呼吸器外科	1,560,000	日本学術振興会
長管骨長径成長における新たな制御機序の解明	高田 信二郎	整形外科	1,820,000	日本学術振興会
再生医療における血管新生は麻酔薬及び周術期管理法に影響されるのか?	川人 伸次	麻酔科	650,000	日本学術振興会

癌移植、浸潤、転移におけるActinin4系の分子機構について	中遠 弘能	泌尿器科	1,820,000	委	日本学術振興会
多嚢胞性卵巣症候群の診断精度の向上に関する検討	苛原 稔	産科婦人科	1,300,000	委	日本学術振興会
歯髄保存療法への緑茶カテキン応用に関する研究	中西 正	歯科	1,170,000	委	日本学術振興会
根面触媒の病態・病因の解析に基づく新しい診断法と治療法の開発	松尾 敬志	歯科	910,000	委	日本学術振興会
エリスリトールを用いた新しく安全な義歯洗浄剤の開発	柏原 稔也	歯科	650,000	委	日本学術振興会
プラズマイオン注入・成膜法によるアクリルレジン床の表面改質に関する研究	有田 憲司	小児歯科	1,430,000	委	日本学術振興会
腫瘍壊死因子とアクアポリン5を分子標的としたシェーグレン症候群の新規治療法の開発	茂木 勝美	歯科口腔外科	1,430,000	委	日本学術振興会
NF- $\kappa$ B依存型分子プロファイリングによる口腔癌特異的バイオマーカーの探索	東 雅之	歯科口腔外科	910,000	委	日本学術振興会
次世代型人工骨としてのインテリジェントマテリアルの開発と発展	湯浅 哲也	歯科口腔外科	1,170,000	委	日本学術振興会
ペリオスチンの機能解析ー骨芽細胞及び歯根膜線維芽細胞における抗アポトーシス作用ー	藤原 慎視	矯正歯科	1,040,000	委	日本学術振興会
糖尿病性血管合併症における血中Smad1の測定計構築と有効性の評価	近藤 直樹	腎臓内科	2,990,000	委	日本学術振興会
胆管細胞癌に有用な低酸素標的抗癌剤の開発	清水 一郎	消化器内科	2,860,000	委	日本学術振興会
グレリンの自律神経作用を介した新しい不整脈治療法の開発	添木 武	循環器内科	1,820,000	委	日本学術振興会
ミネラルコルチコイド受容体を介したグルココルチコイドによる血管内皮障害機構の解明	赤池 雅史	循環器内科	1,950,000	委	日本学術振興会
新規ポドサイト膜糖蛋白Tpbgの機能解析及び新規腎炎治療の探索	高橋 利和	検査部	2,990,000	委	日本学術振興会
慢性腎臓病から腎不全に至る不可逆的形質変化の分子機構解明	安部 秀斉	腎臓内科	2,340,000	委	日本学術振興会
ヘパリンコファクター I I による心リモデリングおよびインスリン抵抗性制御機構の解析	栗飯原 賢一	内分泌・代謝内科	1,950,000	委	日本学術振興会
認知機能障害とQOLに着目した統合失調症の臨床的および脳科学的研究	大森 哲郎	精神科神経科	1,950,000	委	日本学術振興会
血管新生阻害によって惹起される放射線感受性増強のメカニズムに関する研究	西岡 将規	周産母子センター	2,860,000	委	日本学術振興会
脳動脈瘤形成・増大におけるスタチンの二面性作用	里見 淳一郎	脳神経外科	2,080,000	委	日本学術振興会
附離断性骨軟骨炎は小頭栄養血管の血流障害により生じるのか？	松浦 哲也	整形外科	3,120,000	委	日本学術振興会
麻酔薬の心保護作用におけるミトコンドリアのカルシウム依存症カリウムチャネルの役割	大下 修造	麻酔科	2,730,000	委	日本学術振興会
ホルモン不応性前立腺癌におけるガラクトース結合レクチンの腫瘍制御機構の解明	福森 知治	泌尿器科	1,950,000	委	日本学術振興会
新規脳内ペプチドによるゴナドトロピン分泌調節機構と各種すれすれによる影響の検討	松崎 利也	放射線科	1,950,000	委	日本学術振興会
オリゴ糖の亜鉛吸収促進作用を利用した味覚障害の治療法の開発	武田 憲昭	耳鼻咽喉科	1,950,000	委	日本学術振興会
鎌治性根尖性歯周炎と根尖性孔外バイオフィルムに対する電磁・高周波の歯内療法への応用	湯本 浩通	歯科	2,210,000	委	日本学術振興会
数量元素分析による金属アレルギー診断法の開発	細木 真紀	歯科	1,560,000	委	日本学術振興会
放射線治療を受けた顎骨組織のインプラント捕獲による力学的反応	友竹 偉則	歯科	2,470,000	委	日本学術振興会



抗アポトーシス蛋白とNF- $\kappa$ Bを分子標的とした口腔癌の新規治療法の開発	玉谷 哲也	歯科口腔外科	2,730,000	補委	日本学術振興会
歯科治療によるストレス優越に対する精神鎮静療法的心血管系保護作用	江口 覚	歯科麻酔科	2,080,000	補委	日本学術振興会
TGF- $\beta$ /Smad3シグナル経路を介した創傷治癒における癒痕形成抑制法の検討	田中 栄二	矯正歯科	3,900,000	補委	日本学術振興会
マイクロデバイスを用いたカルプロテクチン測定による歯周病診断法の開発	木戸 淳一	歯科	3,640,000	補委	日本学術振興会
日本人歯周病患者を対象とした抗菌ペプチド遺伝子の多型解析と疾患感受性の検討	稲垣 裕司	歯科	1,950,000	補委	日本学術振興会
エレクトロクロミック材料を用いた簡便なプラキシズム診断用電極の開発	西川 啓介	歯科	1,000,000	補委	日本学術振興会
細胞支持基盤の弾性調節による初代培養脂肪・肝臓・骨格筋細胞の長期間機能保持の試み	船木 真理	糖尿病対策センター	1,600,000	補委	日本学術振興会
成長軟骨板の分子制御メカニズム	江西 哲也	整形外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
骨格筋萎縮を予防する抗ユビキチン化オリゴペプチドの開発	安井 夏生	整形外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
顎機能制御系はあるか、記憶・認知・全身機能との関係はあるか: fMRIを用いた証明	市川 哲雄	歯科	2,300,000	補委	日本学術振興会
乳歯歯髄幹細胞による延髄孤束核の再生について	三留 雅人	小児歯科	1,700,000	補委	日本学術振興会
OK-432により誘導されるIFN- $\gamma$ 産生を抑制する口腔癌分泌物質の同定	佐々井 明子	歯科口腔外科	1,524,000	補委	日本学術振興会
歯の発生過程における上皮-間葉相互作用の分子メカニズムを応用した歯再生医療の開発	玉谷 哲也	歯科口腔外科	1,820,000	補委	日本学術振興会
細胞膜特殊構造の新しい役割-心筋保護作用に与える影響とそのメカニズムの解明	堤 保夫	麻酔科	8,710,000	補委	文部科学省
顎関節雑音症例の診断法の考案 -顎運動の観点からみて-	石川 輝明	高次歯科診療部	1,170,000	補委	文部科学省
新規癌抗原OFA-iLRPを標的とした肺癌に対する腫瘍特異的免疫療法の検討	阿部 真治	薬剤部	1,950,000	補委	文部科学省
非小細胞肺癌のEGFR阻害剤に対する感受性予測法QUEENアッセイの臨床開発	柿内 聡司	呼吸器・膠原病内科	1,820,000	補委	文部科学省
肝再生制御因子としてのソニックヘッジホッグ発現機序の解明に関する研究	森根 裕二	消化器・移植外科	2,470,000	補委	文部科学省
小腸移植におけるバクテリアトランスロケーションの防止と小腸免疫システムの研究	東島 潤	消化器・移植外科	2,080,000	補委	文部科学省
SCIDマウス同所移植モデルを用いた肺癌・悪性胸膜中皮腫蛍光診断の検討	滝沢 宏光	呼吸器外科	650,000	補委	文部科学省
歯髄炎の病態形成における自然免疫機構の解明	高橋 加奈子	歯科	1,430,000	補委	文部科学省
咀嚼運動時における顎関節空隙の診査方法の確立	薩摩 登善子	歯科	1,040,000	補委	文部科学省
姿勢センサを用いた歯科検査・治療支援機器(デンタルナビゲータ)の開発	石田 雄一	歯科	650,000	補委	文部科学省
特性遠赤外線照射による癌細胞増殖抑制効果の解析	細川 浩良	歯科口腔外科	780,000	補委	文部科学省
細胞増殖因子徐放能を有する機能型Scaffoldの開発と骨再生への検討	舘原 誠晃	歯科口腔外科	1,820,000	補委	文部科学省
顎関節におけるRANKL/Fasシグナルロストックによる骨・軟骨破壊の制御	井澤 俊	矯正歯科	1,170,000	補委	文部科学省
歯と顎の大きさに関する遺伝的要因の分析	阿部 洋子	小児歯科	650,000	補委	文部科学省
象牙質知覚過敏の発現と強度に及ぼす歯肉退縮とステロイド剤の影響	堀部 ますみ	歯科	2,340,000	補委	文部科学省

オステオプロテジェリンを用いた歯周病の薬物療法の開発	美原 智恵	歯科	1,820,000	補委	文部科学省
心房細動における左室拡張能の非侵襲的評価法の確立	楠瀬 賢也	循環器内科	1,950,000	補委	文部科学省
CCNファミリー分子を標的とした肺線維症の病態解析と新規治療法への展開	東 桃代	呼吸器・膠原病内科	2,210,000	補委	文部科学省
TGF- $\beta$ 受容体阻害薬による新規骨髄腫骨病変治療法の開発	竹内 恭子	血液内科	2,210,000	補委	文部科学省
気管支肺胞幹細胞を用いた胎仔肺細胞移植の試み	鳥羽 博明	呼吸器外科	2,340,000	補委	文部科学省
肝癌に対する肝移植後の再発・転移機構の解明とその制御に関する研究	居村 暁	消化器・移植外科	3,120,000	補委	文部科学省
バクテリアトランスロケーションの新たなメカニズムの解明	吉川 幸造	消化器・移植外科	2,210,000	補委	文部科学省
ラット胎仔肺組織移植モデルを応用した移植片の再構築・融合機能	監崎 孝一郎	呼吸器外科	2,470,000	補委	文部科学省
脱細胞化心臓弁とValve in Valve低侵襲移植法の開発研究	元木 達夫	心臓血管外科	1,690,000	補委	文部科学省
腎虚血再灌流障害に対するHIF-1 $\alpha$ の腎尿管再生メカニズムの解明	山口 邦久	泌尿器科	2,600,000	補委	文部科学省
非侵襲的陽圧喚起療法中の加湿と口腔内乾燥度の検討	大藤 純	救急集中治療部	3,510,000	補委	文部科学省
キャンブ付閉鎖型注ポート組み込み型輸液システムのカテーテル感染の予防効果の検討	中瀧 恵実子	救急集中治療部	2,600,000	補委	文部科学省
金属アレルギー発症機構における樹状細胞の動態解析	渡邊 恵	歯科	1,430,000	補委	文部科学省
チェアサイドでできる新しい嚥下検査法の確立	本釜 聖子	歯科	1,690,000	補委	文部科学省
インプラント周囲炎における新規バイオマーカーの検討	長尾 大輔	歯科	1,170,000	補委	文部科学省
モーフィング法を用いた穂根治療後の顔貌の三次元予測	岡島 雅代	総合歯科診療部	1,170,000	補委	文部科学省
圧電効果を利用した初期固定促進型即時荷重インプラントの開発	内藤 禎人	歯科	1,300,000	補委	文部科学省
リン酸カルシウムコーティング生体吸収型ファイバーの研究と開発	高野 栄之	歯科口腔外科	2,340,000	補委	文部科学省
CXC型ケモカインSDF-1を標的とした口腔癌に対する増殖転移抑制療法の開発	内田 大亮	歯科口腔外科	2,860,000	補委	文部科学省
口腔扁平上皮癌幹細胞の分離と同細胞のCXCR4を標的とした転移抑制療法の開発	尾上 富太郎	歯科口腔外科	1,820,000	補委	文部科学省
新規血管新生因子MSFを標的としたsiRNA阻害剤を併用した口腔癌治療法の開発	大江 剛	歯科口腔外科	2,730,000	補委	文部科学省
survivinとNF- $\kappa$ Bを分子標的とする口腔癌の複合的治療法の開発	高丸 菜都美	歯科口腔外科	2,470,000	補委	文部科学省
S. Mutans定着時期に低濃度フッ化物応用をした際の感染の成立と予防効果	尼寺 理恵	小児歯科	650,000	補委	文部科学省
遺伝子医薬開発を目的とした口蓋粘膜創傷治癒における癒痕形成メカニズムの解明	泰江 章博	矯正歯科	3,640,000	補委	文部科学省
マイオスタチン特異的RNAiを用いた骨格筋量制御法の開発に関する研究	木内 奈央	矯正歯科	3,380,000	補委	文部科学省
歯周炎におけるTh17細胞の浸潤・活性化機構の解析	細川 義隆	歯科	2,470,000	補委	文部科学省
口腔ケアによる肺癌患者の好中球減少発熱エピソードの予防的有用性	横山 正明	口腔管理センター	2,470,000	補委	文部科学省
無機系抗菌剤の抗菌作用機転の解明と創傷治癒促進の新規医療材料の開発に関する研究	陣内 自治	耳鼻咽喉科	2,210,000	補委	文部科学省

間脳下垂体機能障害に関する調査研究	苛原 稔	産科婦人科	2,800,000	補委	厚生労働省
生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究	苛原 稔	産科婦人科	1,500,000	補委	厚生労働省
筋過緊張に対するmuscle afferent block 治療	梶 龍児	神経内科	3,489,000	補委	厚生労働省
膠原病の生命予後規定因子である肺合併症の診断及び治療法の再評価と新規開発に関する研究	西岡安彦	呼吸器・膠原病内科	2,800,000	補委	厚生労働省
びまん性疾患に関する調査研究	西岡安彦	呼吸器・膠原病内科	800,000	補委	厚生労働省
日本人糖尿病合併冠動脈疾患患者において積極的脂質低下・降圧療法の妥当性を問うランダム化臨床試験および観察研究	佐田 政隆	循環器内科	4,500,000	補委	厚生労働省
前庭機能異常に関する調査研究	武田憲昭	耳鼻咽喉科	1,600,000	補委	厚生労働省
自己免疫性内耳障害の実態把握のための多施設研究	武田憲昭	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委	厚生労働省
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	松本俊夫	内分泌・代謝内科	37,200,000	補委	厚生労働省
統合失調症における社会生活機能障害の評価・支援 -MATRICS-CCB 日本語版による認知機能障害の評価と治療計画への応用-	大森 哲郎	精神科神経科	2,000,000	補委	厚生労働省
プライマリーケアで使用可能な、DNAチップを用いたうつ病の診断指標の作成	大森 哲郎	精神科神経科	16,700,000	補委	厚生労働省
統合失調症のシナプスグリア系病態の評価・修復法創出	大森 哲郎	精神科神経科	4,700,000	補委	科学技術振興機構
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	大森 哲郎	精神科神経科	1,000,000	補委	厚生労働省
糖尿病と糖尿病合併冠動脈疾患患者において積極的脂質低下・高圧療法の妥当性を問うランダム化臨床試験および観察研究	佐田 政隆	循環器内科	22,170,000	補委	厚生労働省

計123

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Prosthodontic Research	A new method to prevent the corrosion of dental materials, during disinfection using functional water: Sacrificial protection	Toshiya Kashiwabara	歯科
BONE	Effects of teriparatide on bone mineral density and bone turnover markers in Japanese subjects with osteoporosis at high risk of fracture in a 24-month clinical study: 12-month, randomized, placebo-controlled, double-blind and 12-month open-label phases. BONE 47:493-502. 2010	Miyauchi A	内分泌代謝内科
Osteoporos Int	Effect of daily oral minodronate on vertebral fractures in Japanese postmenopausal women with established osteoporosis: a randomized placebo-controlled double-blind study. 20:1429-1437. 2009	Matsumoto T	内分泌代謝内科
BONE	A double-blinded head-to-head trial of minodronate and alendronate in women with postmenopausal osteoporosis. 44:1078-1084. 2009	Hagino H	内分泌代謝内科
Dig Dis Sci. 2009;54(8):1789-93.	Optimal administration of tacrolimus in reduced-size liver.	森根 裕二	消化器・移植外科
Hepatogastroenterology. 2009; 56(90):307-12.	Usefulness of gemcitabine combined with 5-fluorouracil and cisplatin (GFP) in patients for advanced biliary tract carcinoma.	森根 裕二	消化器・移植外科
J Hepato-biliary-Pancreatic Surg. 2009;16(2):118-23..	Islet Cell Transplantation for the Treatment of Type 1 Diabetes in USA.	池本 哲也	消化器・移植外科
J Gastrointest Surg. 2009;13(1):66-73.	Geranylgeranylacetone Prevents Acute Liver Damage after Massive Hepatectomy in Rats through Suppression of a CXC Chemokine GRO1 and Induction of Heat Shock Proteins.	金村 普史	消化器・移植外科
Cancer Chemother Pharmacol. 2009;64(5):885-92.	Downregulation of matrix metalloproteinase-9 and urokinase plasminogen activator by TX-1877 results in decreased tumor growth and metastasis on xenograft model of rectal cancer.	三宅 講太朗	消化器・移植外科
Cytokine. 2010; 49(3): 251-5.	Serum evaluation of soluble interferon-alpha/beta receptor and high-sensitivity C-reactive protein for diagnosis of the patients with gastrointestinal and hepatobiliary-pancreatic cancer.	三宅 講太朗	消化器・移植外科
J Med Invest. 2009; 56(1-2): 49-54.	Successful preemptive surgical division of type 2-congenital extrahepatic portosystemic shunt in children.	新居 章	消化器・移植外科
Hepato Res. 2009;39(3):274-81.	Significance of dihydropyrimidine dehydrogenase and thymidylate synthase mRNA expressions in hepatocellular carcinoma.	新居 章	消化器・移植外科
Hepato Res. 2009;39(4):391-397.	Beneficial effects of splenectomy on massive hepatectomy model in rats.	荒川 悠佑	消化器・移植外科
Surgery. 2009;146(2):264-8.	A simple formula to calculate the liver drainage volume of the accessory right hepatic vein using its diameter alone.	花岡 潤	消化器・移植外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 2009;16(4):463-7.	Real-Time Elastography for noninvasive diagnosis of hepatic fibrosis.	金本 真美	消化器・移植外科
Surgery today. 2009;39:157-161.	Mass forming Pancreatitis with Positive Fluoro-2-Deoxy-D-Glucose Positron Emission Tomography and Positive Diffusion-Weighted Imaging - Magnetic Resonance Imaging: Report of a Case.	西 正暁	消化器・移植外科
Dig Surg. 2009;26(3):205-8.	Laparoscopic removal of a foreign body in the pelvic cavity through one port using a flexible cholangioscope.	栗田 信浩	消化器・移植外科
J Gastroenterol. 2009;44(11):1113-7.	Sonic hedgehog relates to colorectal carcinogenesis.	吉川 幸造	消化器・移植外科
Surgery. 2009 ;145(6):682-4	Idiopathic phlebosclerosis: an atypical presentation of ischemic colitis treated by laparoscopic colectomy.	吉川 幸造	消化器・移植外科

J Am Coll Surg. 2009 Jun;208(6):1045-50.	Increased risk of lymph node metastasis in mucosal gastric cancer with extra indication for endoscopic mucosal resection.	吉川 幸造	消化器・移植外科
Anticancer Res. 2009 Jan;29(1):385-93.	Effect of splenectomy on antitumor immune system in mice.	東島 潤	消化器・移植外科
J Gastroenterol. 2009;44(11):1113-7.	Molecular signatures of noncancerous liver tissue can predict the risk for late recurrence of hepatocellular carcinoma.	宇都宮 徹	消化器・移植外科
J Laparoendoscopic & Advanced Surgical Techniques 2009;	Hydrocele in the pediatric patients: inguinal or scrotal approach or laparoscopic correction?	嵩原 裕夫	小児外科・小児内視鏡外科
J Laparoendoscopic & Advanced Surgical Techniques 2009;	Laparoscopic strategy for inguinal ovarian hernias in children: when to operate for irreducible ovary.	嵩原 裕夫	小児外科・小児内視鏡外科
J Med Invest. 2009; 56(1-2):49-54.	Successful preemptive surgical division of type 2-congenital extrahepatic portosystemic shunt in children	新居 章	小児外科・小児内視鏡外科
コンセンサス癌治療 2009; 152-155.	肝細胞癌の治療法(3)肝切除術 特集 肝細胞癌の治療	宇都宮 徹	消化器・移植外科
肝胆膵 2009; 59(5): 785-794.	高度進行肝臓がんに対する外科的アプローチ:ミラノ基準外症例に対する肝移植. 特集/肝胆膵; 難治がんに望む ~分子標的治療時代の到来~	宇都宮 徹	消化器・移植外科
消化器疾患の最新の治療 2009;338-341.	「消化器疾患最新の治療 2009-2010」IV章 肝・胆・膵疾患 15. 肝嚢胞(非寄生虫性肝嚢胞)	森根 裕二	消化器・移植外科
手術 2009; 63(8): 1135-1140	肝胆膵手術における皮膚切開・術野展開の工夫;第3助手の不要な肝切除	居村 暁	消化器・移植外科
移植. 2009;44:91-95.	左葉グラフトを用いた生体肝移植後に発症したbacterial translocationによる敗血症の1例.	荒川 悠佑	消化器・移植外科
日本消化器外科学会雑誌. 2009; 42: 270-275.	空腸腸間膜に出血性嚢胞を形成して発病した腸管アミロイドーシスの1例.	栗田 信浩	消化器・移植外科
日本消化器外科学会雑誌. 2009; 70: 1044-1048.	イマチニブ投与後に腫瘍中心壊死巣が胃内腔と交通した胃原発巨大GISTの1例.	栗田 信浩	消化器・移植外科
臨床外科. 2009; 64 (3), 311-316.	下部直腸・肛門管癌に対する術前化学放射線療法併用腹腔鏡下手術.	西岡 将規	消化器・移植外科
小児外科 2009; 41(1):17-19.	消化器・一般外科技術認定習得の経験から	嵩原 裕夫	小児外科・小児内視鏡外科
消化器外科 2009; 32(3): 377-385.	最新の小児鼠径ヘルニアの手術法(LPEC法を含めて)	嵩原 裕夫	小児外科・小児内視鏡外科
小児救急アトラス 2009: 259-261.	胆嚢炎、膵炎	嵩原 裕夫	小児外科・小児内視鏡外科
小児外科 2009; 41(8): 870-871.	毛嚢洞:4歳男児です。毛嚢洞と言われ、骨髄炎になるから手術が必要といわれました。	嵩原 裕夫	小児外科・小児内視鏡外科
小児外科 2009; 41(6): 589-591.	小児肝外傷に対するinterventional radiologyの有用性	吉川 幸造	小児外科・小児内視鏡外科
小児外科 2009; 41(4): 349-353.	胃穿孔・胃破裂	久山 寿子	小児外科・小児内視鏡外科
Auris Nasus Larynx	Evaluation of nasal IgA secretion in normal subjects by nasal spray and aspiration.	Fujimoto Chisa	耳鼻咽喉科学分野
Acta Oto-Laryngologica	Effects of hypergravity on histamine H1 receptor mRNA expression in hypothalamus and brainstem of rats: implications for development of motion sickness.	Gou Satou	耳鼻咽喉科学分野

Acta Oto-Laryngologica	Changes in the characteristics of definite Meniere's disease over time in Japan: a long-term survey by the Peripheral Vestibular Disorder Research Committee of Japan, formerly the Meniere's Disease Research Committee of Japan.	Syojaku Hideo	耳鼻咽喉科学分野
Equilibrium Research	メニエール病診断基準	渡辺 行雄	耳鼻咽喉科学分野
Equilibrium Research	体性感覚がOcular counter rollingに及ぼす影響の検討	北島 明美	耳鼻咽喉科学分野
Audiology Japan	1歳6か月児および3歳児健康診査における聴覚スクリーニングの現状と問題点の検討	坂崎 弘幸	耳鼻咽喉科学分野
Auris nasus larynx	Effects of zinc supplementation on serum zinc concentration and ratio of apo/holo-activities of angiotensin converting enzyme in patients with taste impairment.	Tsukasa Takaoka	耳鼻咽喉科学分野
Acta Oto-Laryngologica	3D-analysis of benign positional-nystagmus-due to cupulolithiasis in posterior semicircular canal.	Imai Takao	耳鼻咽喉科学分野
Acta Oto-Laryngologica	A zinc-containing compound, Polaprezinc, is effective for patients with taste disorders: randomized, double-blind, placebo-controlled, multi-center study.	Masafumi Sakagami	耳鼻咽喉科学分野
Auris Nasus Larynx	A new video laryngo-pharyngoscope with shape-holding coiled tube and surgical forceps: a preliminary study.	Koichi Tamura	耳鼻咽喉科学分野
耳鼻咽喉科臨床	術中X線透視を用い対側よりアプローチした蝶形骨洞囊胞再手術例	関田 拓馬	耳鼻咽喉科学分野
Anesthesia Analgesia	Low-dose sevoflurane inhalation enhances late cardioprotection from the anti-ulcer drug geranylgeranylacetone.	Hiroshi Kitahata	麻酔科
Paediatric Anaesthesia	Two unusual complications associated with cardiopulmonary bypass for pediatric cardiac surgery detected by transesophageal echocardiography after decannulation.	Shinji Kawahito	麻酔科
Biochem Biophy Res Comm	Effects of ketamine on glucose uptake by glucose transporter type 3 expressed in Xenopus oocytes: The role of protein kinase C.	Shigemasa Tomioka	歯科麻酔科
Journal of Anesthesia	Low-density lipoprotein apheresis in a pediatric patient with refractory nephrotic syndrome due to focal segmental glomerulosclerosis.	大藤 純	救急集中治療部
日本集中治療医学雑誌	胸腹部大動脈切除術後に急性肺炎を併発した一例	今中 秀光	救急集中治療部
日本集中治療医学雑誌	免疫抑制療法中に壊死性皮膚筋膜炎感染症による敗血症ショック, 多臓器不全から救命できた1症例	金川 俊哉	救急集中治療部
日本集中治療医学雑誌	中心静脈カテーテル抜去後に乳糜胸を発症した先天性心疾患の1症例	岡村 昌彦	救急集中治療部
J Anesth	Low-density lipoprotein apheresis in a pediatric patient with refractory nephritic syndrome due to focal segmental glomerulosclerosis.	須賀健一	小児科
Am J Med Sci	Increased urinary angiotensinogen is precedent to increased urinary albumin in patients with type 1 diabetes.	漆原真樹	小児科
Mol Cell Endocrinol	IL-6 augments angiotensinogen in primary cultured renal proximal tubular cells.	漆原真樹	小児科
Biomarker Insights	Angiotensin II type 1 receptor blockers reduce urinary angiotensinogen excretion and the levels of urinary markers of oxidative stress and inflammation in patients with type 2 diabetic nephropathy.	漆原真樹	小児科
Clin Exp Pharmacol Physiol	Role of activated intrarenal reactive oxygen species and renin-angiotensin system in IgA nephropathy model mice.	漆原真樹	小児科

Clin Exp Pharmacol Physiol	Activation of reactive oxygen species (ROS) and renin-angiotensin system (RAS) activation in immunoglobulin A (IgA) nephropathy model mice.	漆原真樹	小児科
Hypertension	Urinary Angiotensinogen as a Novel Biomarker of the Intrarenal Renin-Angiotensin System Status in Hypertensive Patients	漆原真樹	小児科
Pediatrics International	Autonomic function in patients with Duchenne muscular dystrophy.	井上美紀	小児科
Pediatr Cardiol	Stenting of ductus arteriosus in a neonate with truncus arteriosus and interrupted aortic arch associated with a right aortic arch.	阪田美穂	小児科
Pediatr Radiol	Tracheal compression due to an elongated aortic arch in patients with congenital heart disease: evaluation using multidetector-row CT.	渡辺典子	小児科
J Neurooncol	Primary anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma with widespread neuroaxis dissemination at diagnosis—a pediatric case report and review of the literature.	渡辺浩良	小児科
Int J Hematol	Marked improvement of platelet transfusion refractoriness after bortezomib therapy in multiple myeloma.	渡辺浩良	小児科
J Am Coll Cardiol Img.	Clinical Utility of Single Beat E/e' Obtained by Simultaneous Recording of Flow and Tissue Doppler Velocities in Atrial Fibrillation with Preserved Systolic Function.	楠瀬賢也	循環器内科
The Journal of Medical Investigation.	Crucial role of renin-angiotensin system in the pathogenesis of atherosclerosis.	佐田政隆	循環器内科
J Atheroscler Thromb.	Ezetimibe ameliorates metabolic disorder and microalbuminuria in patients with hypercholesterolemia.	八木秀介	循環器内科
Hypertension.	eNOS-independent Protective Action of Statin Against Angiotensin II-induced Atrial Remodeling via Reduced Oxidant Injury.	八木秀介	循環器内科
Life Sci.	Local delivery of synthetic prostacycline agonist augments collateral growth and improves cardiac function in a swine chronic cardiac ischemia model.	佐田政隆	循環器内科
Curr Pharm Des.	Role of vascular progenitor cells in cardiovascular disease.	佐田政隆	循環器内科
Circ Res.	Periadventitial adipose tissue plays a critical role in vascular remodeling.	佐田政隆	循環器内科
Biomed Pharmacother.	Synthetic prostacycline agonist, ONO-1301, ameliorates left ventricular dysfunction and cardiac fibrosis in cardiomyopathic hamsters.	佐田政隆	循環器内科
J Vasc Surg.	Long-term Patency of Small-diameter Vascular Graft Made from Fibroin, a Silk-based Biodegradable Material.	佐田政隆	循環器内科
Arterioscler. Thromb. Vasc. Biol.	When EPC says: I2 shall limit neointima formation!	佐田政隆	循環器内科
Cardiovasc Research.	Is PIGF a Plaque Growth Factor?	佐田政隆	循環器内科
電学論C	バイオマーカーを用いた歯周病診断	木戸淳	歯科
四国歯学会雑誌	根面被覆術について	大石慶二	歯科
Oncol Res. 17(11-12):581-591, 2009.	A bone metastasis model with osteolytic and osteoblastic properties of human lung cancer ACC-LC-319/bone2 in natural killer cell-depleted severe combined immunodeficient mice.	Otsuka S	呼吸器・膠原病内科
Clin Vaccine Immunol.16(5): 672-678, 2009. May	Evaluation of a rapid immunochromatographic ODK0501 assay for detecting Streptococcus pneumoniae antigen in sputum samples from patients with lower respiratory tract infection.	Izumikawa K	呼吸器・膠原病内科

Clin Cancer Res.16(1): 174-183, 2010. Jan 1	Hepatocyte growth factor reduces susceptibility to an irreversible epidermal growth factor receptor inhibitor in EGFR-T790M mutant lung cancer.	Yamada T	呼吸器・膠原病内科
Clin Cancer Res. 15(23): 7229-7237, 2009. Dec 1	E7080, a multi-tyrosine kinase inhibitor, suppresses the progression of malignant pleural mesothelioma with different proangiogenic cytokine production profiles.	Ikuta K	薬剤部
J Immunol.183(12): 8176-8185, 2009. Dec 15	Expression of soluble vascular endothelial growth factor receptor-1 in human monocyte-derived mature dendritic cells contributes to their antiangiogenic	Kishuku M	薬剤部
Echocardiography	Platypnea-orthodeoxia syndrome associated with patent foramen ovale and aortic ectasia.	Kusunose K	心臓血管外科
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	Heparin Cofactor II Is an Independent Protective Factor Against Peripheral Arterial Disease in Elderly Subjects With Cardiovascular Risk Factors Heparin Cofactor II Is an Independent Protective Factor Against Peripheral Arterial Disease in Elderly Subjects With Cardiovascular Risk	Aihara K	心臓血管外科
Ann Thorac Surg	Syngeneic-Bone-Marrow Mononuclear Cells Improve Pulmonary Arterial Hypertension Through Vascular Endothelial Growth Factor Upregulation	Yoshida H	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg	LETTERS TO THE EDITOR: Optimal surgical approach for repair of aortopulmonary window with aortic origin the right pulmonary artery	Kitagawa T	心臓血管外科
Int J Cardiol	Assessment of systemic-pulmonary collateral arteries in children with cyanotic congenital heart disease using multidetector-row computed tomography: Comparison with conventional angiography	Hayabuchi Y	心臓血管外科
Neurology	Undeclared Regulatory T Cells in the Thymus of Myasthenia Gravis Patients	Matsui N	心臓血管外科
Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology	Role of Hif-1 $\alpha$ in T cells as a negative regulator in development of vascular remodeling American Heart Association	Kurobe H	心臓血管外科
心臓血管外科学会雑誌	腎移植は尿毒症性心の低心機能を著明に改善する	中山泰介	心臓血管外科
心臓血管外科学会雑誌	エリスロポエチン誘導末梢血単核球細胞移植が奏効した重症虚血性潰瘍を伴うBuerger病の一例	木下肇	心臓血管外科
Schizophr Res	GABA concentration in schizophrenia patients and the effects of antipsychotic medication:A proton magnetic resonance spectroscopy study	Tayoshi S	精神科神経科
Am J Med Genet	Gene expression and association analyses of the phosphodiesterase 4B (PDE4B) gene in major depressive disorder in the Japanese population	Numata S	精神科神経科
J Psychiatry Neurosci	Positive association of the pericentrin (PCNT) gene with major depressive disorder in the Japanese population	Numata S	精神科神経科
Psychiatr Genet	No association between Rho-associated coiled-coil forming protein serine/threonine kinase1 gene and schizophrenia in the Japanese population	Nakataki M	精神科神経科
日本顎顔面インプラント学会誌	インプラント体の表面粗さの違いによる周囲骨吸収への影響-同一患者の隣接するインプラント体のX線評価による比較-	藤澤 健司	歯科口腔外科
Molecular Cancer	Vesnarinone downregulates CSCR4 expression via upregulation of Kruppel-like factor 2 in oral cancer cells.	内田 大亮	歯科口腔外科
J.Int.Med.	The views of doctors on registration trials in a Japanese rural area ; a survey of medical institutions registered to the Tokushima network for clinical Trials	楊河 宏章	臨床試験管理センター
Int Arch Med.	Role of clinical research coordinators in promoting clinical trials of drugs for surgical patients	楊河 宏章	臨床試験管理センター
J Neurol Sci	Screening for TARDBP mutations in Japanese familial amyotrophic lateral sclerosis	Kamada M	神経内科



J Neurol Neurosurg Psychiatry	Increasing incidence of elderly-onset patients with myasthenia gravis in a local area of Japan	Matsui N	神経内科
Neurosci Lett	Threshold-dependent effects on peripheral nerve in vivo excitability properties in the rat	Mori A	神経内科
Toxicon	Quantitative determination of the biological activity of botulinum toxin type A by measuring the compound muscle action potential(CMAP) in rats	Sakamoto T	神経内科
Mov Disord	Subthalamic nucleus deep brain stimulation for camptocormia associated with Parkinson's disease	Sako W	神経内科
Hypertens Res	Predictors of aortic complicated lesions in stroke patients	Terasawa Y	神経内科

計110

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 苛原稔			
管理担当者氏名	・総務課長 佐藤 宏通	・医事課長 高橋 貞夫		
	・手術部長 永廣 信治	・薬剤部長 水口 和生		
	・看護部長 木田 菊恵	・放射線部長 松寄 健司		

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科（部）で保管	各診療科（部）で保管している。（なお、カルテについては、一部電子カルテシステム、診療録管理室にて管理しているものもある。）
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	文書ファイルで保管している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課、医事課	
	閲覧実績	総務課、医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の第一項及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	文書ファイルで保管している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一	院内感染のための指針の策定状況	医事課
	第一條の十一	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
	第一條の十一	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
	第一條の十一	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
第二項各号及び第九條の二十三	第二項各号及び第九條の二十三	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事課
	第二項各号及び第九條の二十三	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課
	第二項各号及び第九條の二十三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医事課, 薬剤部
	第二項各号及び第九條の二十三	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課, 薬剤部
第二項第一号に掲げる体制の確保の状況	第二項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME管理センター
	第二項第一号に掲げる体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理センター
	第二項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理センター
	第二項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 佐伯隆三
閲覧担当者氏名	総務課長 佐藤宏通
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.9%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	15,391人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,501人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	262人	
	D: 初診の患者の数	22,055人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 用語の定義</li><li>(2) 安全管理に関する基本的考え方</li><li>(3) 医療に係る安全管理のための取組に関する基本事項</li><li>(4) 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針</li><li>(5) 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li><li>(6) 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>(7) 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針</li><li>(8) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>リスクマネジメント委員会（月 1 回、臨時 1 回）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。</li><li>(2) 医療上の事故等発生時の対応に関すること。</li><li>(3) 医薬品の安全使用に関すること。</li><li>(4) 医療機器の安全使用に関すること。</li><li>(5) その他医療上の事故等に関すること。</li></ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回

・ 研修の主な内容：

第1回安全管理研修会学術講演会

・・・「医療機器の安全性確保の理念「医療現場での医療機器教育」」

第2回安全管理研修会学術講演会・・・「お客さまの声」への対応について～銀行の事例から～

第3回安全管理研修会・・・「医薬品の適正な管理と使用」「副作用報告制度について」

第4回安全管理研修会・・・「MRIの安全性について」

第5回安全管理研修会・・・「DVTの予防について」「一次救命処置について」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・ 医療機関内における事故報告等の整備  
・ その他の改善のための方策の主な内容：

( 有・無 )

1. 「徳島大学病院において行われる治療・検査等の審議書」を作成し、治療・処置の同意が患者本人や家族から得られない場合の診療行為について病院で審議することとした。
2. 「徳島大学医学部・歯学部附属病院リスクマネジメント調査委員会要項」を作成し、調査委員会設置等について具体化した。
3. 「周術期における中止薬一覧表」を作成し、周術期中止しなければいけない薬剤を明確にした。
4. 安全管理対策室リスクマネジメント部門へ、専任リスクマネジャーとして看護師長1名が配属になり、2人体制となった。
5. 経皮的内視鏡胃瘻増設術(PEG)マニュアルを作成し、PEG造設時の注意点や管理方法等を明文化した。
6. 中心静脈カテーテル挿入マニュアルを作成し、挿入についての基準、教育体制等の明文化を行った。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況

有 ( 2名 ) ・ 無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況

有 ( 5名 ) ・ 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況

有 ・ 無

・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 5 ) 名  
・ 活動の主な内容：

- (1) 本院において発生した医療上の事故等の原因究明、調査、分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関すること。
- (2) 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること。
- (3) 患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関すること。
- (4) 医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関すること。
- (5) 医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関すること。
- (7) インシデント報告の管理に関すること。
- (8) リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存、その他リスクマネ

ジメント委員会の庶務に関すること。

(9)医療安全に係る連絡調整に関すること。

(10)医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。

(11)医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。

(12)その他医療上の事故防止及び医療の安全性の向上に関すること。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 用語の定義</li><li>(2) 安全管理に関する基本的考え方</li><li>(3) 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項</li><li>(4) 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針</li><li>(5) 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li><li>(6) 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>(7) 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針</li><li>(8) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 14回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会（毎月1回、臨時1回、持ち回り1回）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 院内感染の予防及び対策に関すること。</li><li>(2) 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること。</li><li>(3) 院内感染発生時の措置に関すること。</li><li>(4) 職員の院内感染の教育に関すること。</li><li>(5) 安全管理対策室感染対策部門の運営に関すること。</li><li>(6) その他院内感染に関すること。</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3回



(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： 処方上の注意点、医薬品の適正な管理方法、麻薬の取り扱い方法 薬剤に関する重大な医療事故防止のための注意点 健康被害救済制度、副作用報告制度の説明	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 各種薬剤業務、病棟における医薬品管理が適正に行われているかを病棟間相互チェック等の際に調査し、不備な点を指摘し改善している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 全病棟に薬剤師を配置し、持参薬を含め、病棟における医薬品の管理体制を整備した。 薬剤管理指導業務により得られた副作用情報を毎週薬局会で薬剤部員に伝えている。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容： 看護師、研修医、コメディカルを対象に「輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、ベッドサイドモニタ」について実施した。 内容は、研修会場に機器を持ち込み実際の事故事例を挙げながらアラームの理解と対処方法を実技形式で開催した。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 定期保守点検（メーカー指定期間による）、予防メンテナン、機器のオーバーホールを機器販売メーカーへ依頼し、実施した。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の添付文書、機器製造販売メーカーからの機器情報および厚生労働省医薬食品局の「医薬品・医療機器等安全性情報」配信サービスに登録し、情報収集している。	